

# 合同学術総会

改訂版

第20回化学生物総合管理学会 第17回社会技術革新学会

知の市場 協賛

日時：2023年9月8日(金) 19:00～23:30

会場：オンライン開催 (Zoom meeting)

一般発表 近時の欧米を模した働き方への傾斜は我が国に何をもたらすか  
—職場の変遷を検証しつつ人材育成などにおけるその功罪を論じる—  
廣崎 淳 (化学生物総合管理学会会員)

一般発表 外交資料を分析できるアマチュア歴史家のすすめ  
—情報公開時代には情報分析能力を磨くことが成否を分ける—  
山口真人 (社会技術革新学会会員)

自由討論 問題提起を契機に、ワイワイガヤガヤ、自由闊達に意見を交換する。  
〈プログラム詳細は、裏面をご参照ください。〉

## 《参加方法》

★参加資格:学会の会員以外の方の参加も大歓迎です。

★参加登録:事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名(フリガナ)、②所属(勤務先等)を明記のうえ、  
8月25日までにE-mail (kagakus \* cbims.net) 宛てにお申し込み下さい。  
なお、定員に達し次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください。

## ★参加費

学会員の方:参加は無料です。

非会員の方:参加費は1,000円です。以下の口座に、8月25日までに振込み下さい。この期日までに振り込みが  
確認できなかった場合には、参加登録は自動的に取り消しになります。

みずほ銀行飯田橋支店、普通口座 2329303、口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担下さい。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はありませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証:振込の確認ができたのち、開催日前日までに、登録いただいたメールアドレス宛にメールにてお送りいたします。参加証にてオンライン学術総会のミーティング情報 (Zoomに接続するための情報) のご案内をいたします。

化学生物総合管理学会 社会技術革新学会

# 合同学術総会

## 第20回化学生物総合管理学会 第17回社会技術革新学会 知の市場 協賛

### ■ プログラム ■

2023年9月8日(金)

時間 発表者(敬称略)・所属

19:00 開会挨拶  
増田 優  
化学生物総合管理学会会長  
社会技術革新学会会長  
知の市場会長

明治維新から第二次世界大戦まで77年、そして第二次世界大戦から今日まで同じ77年が経過し、一つの節目の時を迎えた。その間、日本の企業・産業・経済・社会は劇的な変貌を遂げ、人々の人生も日々の生活も激変したが、それは一様な流れであったわけではない。それぞれの期間の前半では先行する欧米諸国を追走しつつ高い成長を成し遂げ大正デモクラシーや経済大国ともてはやされる中でそれまででない時代を謳歌した。一方で後半の期間では大恐慌や東西冷戦の終結などといった世界的な変動に見舞われるとともに関東大震災や東日本大震災などに直撃され困難と停滞を余儀なくされた。そうした中で戦禍に落ち込んでしまった先の77年の轍を再び踏まないためにも、後の77年とりわけ後半の30-40年の姿を多様な視点から改めて省みつつ常識というドグマを排し自由闊達に意見を戦わせ、今後のあり様に思いを致す。

19:10~20:40 一般発表・質疑応答

近時の欧米を模した働き方への傾斜は我が国に何をもたらすか  
—職場の変遷を検証し人材育成などにおけるその功罪を論じる—  
廣崎 淳  
化学生物総合管理学会

新型コロナ対応でリモートワークが普及し、コロナ後も社員の出勤を前提としない企業が増えている。リモートワークでは個人での業務遂行が増えるため、事前にそれぞれが分担する作業内容を明確にした上で取り組むことが多い。また、雇用形態においても日本型雇用といわれる職務内容を限定しないメンバーシップ型から、事前に職務内容を詳細に定めるジョブ型への移行が進められている。一方、新しい価値創造のためには様々な枠を超えた多様な知の統合が必要とされ、あらかじめ定めることができる職務範囲を超える活動が求められる。こういった見通しが困難で想定していなかった対応が必要になる課題に取り組み、他者と協働して具体的で新しい展開を作り出すことができる人材の育成に対して、リモートワークとジョブ型雇用という働き方の変化が及ぼす影響について考えたい。

20:40~22:10 一般発表・質疑応答

外交資料を分析できるアマチュア歴史家のすすめ  
—情報公開時代には情報分析能力を磨くことが成否を分ける—  
山口真人  
社会技術革新学会会員

ロシアのウクライナ侵攻でも分かるように、非常にミステリアスな現代国際外交にあって各国の情報分析力に大きな差異が生じている。情報分析は状況認識や外交政策に影響し、その善し悪しが各国の外交の成否を決定づける。日本が優れた外交を実践するためには国民の情報分析能力を高める活動が不可欠である。こうした中、外交資料は30年経過すれば公表するとのルールが定着し、この新たな外交資料の分析による外交新事実の発見が報告されるようになってきた。こうした状況を踏まえて、我々一人一人が余暇の時間を用いて外交資料を分析するアマチュア歴史家になることを推奨したい。歴史解釈は知的興奮度の極めて高い活動である。天文学においてアマチュア天文学家が公開された膨大な観測データを解析し、新たな銀河の発見において活躍しているのと同様に、アマチュア歴史家の外交資料を用いた歴史解釈が新たな歴史認識をもたらすとすれば、有意義な余暇の過ごし方として人気が出ると思われる。

22:10~23:30 自由討論 問題提起を契機に、ワイワイガヤガヤ、自由闊達に意見を交換する。

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。

プログラム詳細は、化学生物総合管理学会 (<http://www.cbims.net/>) または社会技術革新学会 (<http://s-innovation.org/>) のホームページを参照下さい。